



令和5年10月31日

# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第29号

## 学校へ行こう週間（ひろしま教育ウィーク） 11月1日（水）～7日（火）

広島県では、毎年11月1日を「ひろしま教育の日」と定め、教育のさらなる充実と発展のために様々な関連行事を行っています。また、「ひろしま教育の日」の前後を「学校へ行こう週間（ひろしま教育ウィーク）」とし、全県的に学校を開放し、開かれた学校づくりを一層推進しています。

コロナ禍で保護者の皆様や地域の皆様に気軽に学校へ来ていただくことはできていませんでしたが、現在は制限もなくなり、少しずつ学校を開放することができます。

本年度は11月1日（水）から7日（火）を「学校へ行こう週間（ひろしま教育ウィーク）」とし、蒲刈中学校では10月末から11月上旬に様々な行事を開催し、保護者の皆様や地域の皆様に见に来ていただく機会を設けるようにしています。

そして、「学校へ行こう週間（ひろしま教育ウィーク）」の期間だけでなく、学校教育に対する理解と関心を深めていただき、信頼される学校づくりを推進するためにも、いつでも蒲刈中学校にお越しいただき、生徒や先生、学校の様子を見ていただきたいと思います。见に来ていただくことが、生徒を家庭・地域全体で育てていくことにつながります。

今後も様々な行事を行いますので、ぜひご来校いただき、貴重なご意見等をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。



- 10月22日（日） 学習発表会（中学校の部）
- 10月30日（月）～11月10日（金） 全校あいさつ運動
- 11月2日（木） 小中合同避難訓練（地震・津波災害）
- 11月6日（月） 認知症サポーター養成講座
- 11月8日（水） 第3回進路説明会



# いのちを大切にする教育

## ～「妊婦体験」を通して～

10月30日(月)5・6校時、全校生徒対象に「妊婦体験」を通じた「いのち」について考える授業を行いました。この授業では、「いのち」の誕生について学ぶことで生命の尊さや自他の「いのち」の大切さについて理解し、「妊婦体験」をすることで胎児の時から大切に育ててくれた親への感謝の気持ちを育むことを目的としています。

今回は、呉市保健所 安芸灘保健出張所 保健師 瀬山 未奈 様、助産師 寺西 須美子 様をお招きし、授業を行っていただきました。

まずは、妊娠の経過や乳幼児期の育児について説明していただきました。その後、「妊婦体験」として、妊娠ジャケットを着て、「寝返りをうつ」「爪切りをする」「掃除機をかける」という体験をしました。普段なら簡単にできることでも、妊婦の人にとっては大変なことであることを実感しました。また、「育児体験」では、乳幼児の人形を使って「抱っこ」「着替え」を体験しました。人形であっても、大切に抱っこしたり、小さな服に腕を通したりすることで、親への感謝の気持ちを改めて感じているようでした。

今回のような「妊婦体験」を通じて最も大切なことは、自分は唯一無二のかけがえのない存在であり、自分の「いのち」を大切にしていこうという態度を育てることだと思っています。

